

## 平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 清和中央ホールディングス株式会社

コード番号 7531 URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪上 正章

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 阪上 恵昭

TEL 06-6581-2141

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	28,157	△13.0	△84	—	117	△67.3	△129	—
21年12月期第3四半期	32,366	—	155	—	359	—	135	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△33.01	—
21年12月期第3四半期	34.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	27,165	9,551	34.5	2,393.94
21年12月期	27,082	10,854	35.4	2,445.42

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 9,374百万円 21年12月期 9,576百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,300	△10.0	△163	—	118	△3.2	△107	—	△27.32

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 3,922,000株 21年12月期 3,922,000株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 6,027株 21年12月期 6,027株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 3,915,973株 21年12月期3Q 3,915,973株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(第3四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、前半は中国を始めとする新興国向け外需輸出の増勢、さらに、エコ関連商品の販売回復から一部製造業主導での持ち直しの動きが出たものの、その他製造業の動きは緩慢で、建設需要も底打ちの感はあるものの低迷が続きました。その後、急激な円高の進行に伴い、製造業では製造拠点を海外へ移転しようとする動きもある中、低い雇用水準、デフレ圧力の継続など依然として厳しい状況で推移いたしました。

鉄鋼業界におきましては、全国粗鋼生産量は新興国向けの輸出を牽引役に増加し、平成22年度上半期（4月—9月）の生産量は5,542万トン（日本鉄鋼連盟）と金融危機直前の9割程度にまで回復したものの、円高などの影響を受けて輸出に陰りも見えております。

鉄鋼流通業界におきましては、春先までは、鉄鉱石や石炭などの原材料価格やスクラップ価格の高騰による鉄鋼メーカーの値上げによる若干の仮需要の発生があったものの、実需要の低迷は続いており、その後の買控えの動きが顕著となる中、鉄鋼価格は再度値下がりに転じ、流通業者間での販売先獲得競争の激化が続き、大変厳しい状況が続きました。

このような厳しい経営環境の下、当社グループは、さらなる在庫の適正化と販売量確保のために取扱品種の多様化にも取り組み、きめ細かい営業活動に注力してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は、281億57百万円と前期に比べ13.0%の減収となりました。

利益面につきましては、のれん償却の影響もあって営業損失は84百万円（前年同期は営業利益1億55百万円）、経常利益は1億17百万円（前年同期は3億59百万円）、一部の連結子会社の繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等を差引いた四半期純損失は1億29百万円（前年同期は四半期純利益1億35百万円）となりました。

事業部門別の売上高概況は、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	前年同期比 (%)
構造用鋼	1,815 百万円	102.7
線材	275	107.3
鉄筋	1,529	90.2
平・角鋼	1,854	85.5
一般形鋼	4,303	91.0
H形鋼	4,938	73.9
軽量形鋼	1,857	89.0
鋼板類	4,667	83.2
鋼管・その他類	5,246	92.2
特殊鋼類	1,369	136.3
一般鋼材販売事業 小計	27,857	87.9
その他の事業	300	44.9
合計	28,157	87.0

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、271億65百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少4億60百万円及び商品の減少1億50百万円等があったものの、現金及び預金の増加6億25百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億85百万円増加し、176億13百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少8億31百万円があったものの、短期借入金の調達22億80百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億3百万円減少し、95億51百万円となりました。この主な要因は、連結子会社株式の追加取得等により、少数株主持分が前連結会計年度に比べ11億1百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、35.4%から34.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ6億25百万円増加し、23億98百万円（前年同四半期末残高は19億23百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、5億86百万円（前年同四半期は19億26百万円獲得）となりました。これは主に、未収入金の増加額7億90百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億32百万円（前年同四半期は2億円獲得）となりました。これは主に、有価証券の売却による収入8億円があったものの、少数株主からの子会社株式の取得による支出10億88百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、14億43百万円（前年同四半期は22億78百万円使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出9億円があったものの、短期借入金の純増加額22億80百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

①棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

当社及び一部の連結子会社においては、前連結会計年度末以降に、経営環境及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しております。

・四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当社及び一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,498,542	1,873,310
受取手形及び売掛金	10,985,268	11,445,809
有価証券	—	800,000
商品	1,957,113	2,107,668
繰延税金資産	35,240	35,553
その他	2,639,090	1,460,489
貸倒引当金	△56,417	△57,734
流動資産合計	18,058,838	17,665,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,478,763	1,546,417
土地	2,776,753	2,830,187
その他(純額)	461,461	366,064
有形固定資産合計	4,716,977	4,742,668
無形固定資産		
のれん	385,542	481,127
その他	67,012	74,670
無形固定資産合計	452,555	555,798
投資その他の資産		
賃貸用不動産	2,578,316	2,515,939
繰延税金資産	1,896	77,454
その他	1,427,526	1,597,564
貸倒引当金	△70,798	△71,524
投資その他の資産合計	3,936,939	4,119,434
固定資産合計	9,106,473	9,417,901
資産合計	27,165,311	27,082,998

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,616,011	8,569,767
短期借入金	5,680,678	3,400,000
未払法人税等	117,434	327,457
繰延税金負債	—	16,295
賞与引当金	63,625	17,900
役員賞与引当金	11,250	15,000
その他	1,155,152	1,020,893
流動負債合計	15,644,151	13,367,313
固定負債		
長期借入金	368,400	1,200,000
繰延税金負債	1,136,382	1,135,323
退職給付引当金	156,095	156,786
役員退職慰労引当金	175,745	233,090
その他	132,824	135,496
固定負債合計	1,969,448	2,860,696
負債合計	17,613,599	16,228,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,800	735,800
資本剰余金	601,840	601,840
利益剰余金	7,903,011	8,071,425
自己株式	△23,429	△23,429
株主資本合計	9,217,222	9,385,636
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	157,368	190,574
評価・換算差額等合計	157,368	190,574
少数株主持分	177,120	1,278,777
純資産合計	9,551,712	10,854,988
負債純資産合計	27,165,311	27,082,998

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	32,366,599	28,157,973
売上原価	29,467,315	25,711,560
売上総利益	2,899,284	2,446,413
販売費及び一般管理費	2,743,540	2,531,022
営業利益又は営業損失(△)	155,743	△84,608
営業外収益		
受取利息	11,346	7,514
受取配当金	13,617	6,460
仕入割引	49,601	38,384
不動産賃貸料	247,275	238,805
その他	9,446	18,470
営業外収益合計	331,287	309,634
営業外費用		
支払利息	61,211	27,198
売上割引	17,178	11,578
不動産賃貸原価	45,459	56,744
その他	3,390	11,888
営業外費用合計	127,238	107,409
経常利益	359,791	117,616
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	9,184
貸倒引当金戻入額	57,806	6,606
特別利益合計	57,806	15,791
特別損失		
固定資産売却損	1,768	2,184
ゴルフ会員権評価損	—	1,300
特別損失合計	1,768	3,484
税金等調整前四半期純利益	415,829	129,923
法人税等	244,791	297,780
過年度法人税等	54,182	—
少数株主損失(△)	△18,693	△38,603
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,548	△129,254



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	10,604,010	10,496,739
売上原価	9,742,990	9,651,828
売上総利益	861,019	844,910
販売費及び一般管理費	954,881	854,188
営業損失(△)	△93,861	△9,278
営業外収益		
受取利息	3,107	2,337
受取配当金	150	250
仕入割引	16,758	14,949
不動産賃貸料	83,320	78,549
その他	2,653	2,121
営業外収益合計	105,989	98,208
営業外費用		
支払利息	16,197	8,978
売上割引	3,423	5,105
不動産賃貸原価	15,325	20,484
その他	2,555	3,608
営業外費用合計	37,501	38,177
経常利益又は経常損失(△)	△25,374	50,753
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,710	—
特別利益合計	3,710	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,663	50,753
法人税等	751	88,214
過年度法人税等	54,182	—
少数株主損失(△)	△5,186	△4,437
四半期純損失(△)	△71,410	△33,024

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	415,829	129,923
減価償却費	166,657	165,978
のれん償却額	131,216	133,091
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55,382	△2,042
受取利息及び受取配当金	△24,964	△13,974
支払利息	61,211	27,198
有形固定資産売却損益(△は益)	1,768	2,184
売上債権の増減額(△は増加)	8,271,084	460,541
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,110,855	150,555
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,412,952	46,244
前渡金の増減額(△は増加)	—	△625,626
未収入金の増減額(△は増加)	—	△790,016
その他	△82,322	△156,692
小計	2,583,003	△472,636
法人税等の支払額	△656,606	△113,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,926,396	△586,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	800,000
有形固定資産の取得による支出	△13,690	△157,094
有形固定資産の売却による収入	1,518	857
投資有価証券の取得による支出	△6,674	△6,547
投資不動産の賃貸による収入	247,149	241,792
少数株主からの子会社株式の取得による支出	—	△1,088,100
貸付けによる支出	△34,000	△2,000
貸付金の回収による収入	11,714	1,524
利息及び配当金の受取額	25,805	13,835
その他	△31,765	△36,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	200,057	△232,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△730,000	2,280,678
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△1,350,000	△900,000
利息の支払額	△67,846	△31,891
配当金の支払額	△117,505	△39,156
少数株主への配当金の支払額	△9,453	△9,453
その他	△4,188	△6,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,278,992	1,443,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△152,548	625,249
現金及び現金同等物の期首残高	2,076,267	1,773,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,923,719	2,398,527

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

当社グループの事業は、「一般鋼材販売事業」と「その他の事業」に区分していますが、全セグメントの売上高の合計及び営業利益又は営業損失（△）の金額の合計額に占める、「一般鋼材販売事業」の割合が90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。